

# 手話パフォーマンス甲子園実行委員会企画推進会議 (平成29年度第3回)

日時：平成29年11月24日（金）午前10時30分～正午  
場所：鳥取県庁 特別会議室（議会棟3階）

## 1 開 会

## 2 委員長あいさつ

## 3 報告事項

- (1) 第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の開催について（資料1）
- (2) 第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園における取材及びテレビ等の放送実績（資料2）

## 4 協議事項

- (1) 第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園への御意見、御感想（資料3）

## 5 その他

- (1) 今後の日程について（資料4）
- (2) 予算の執行状況について（資料5）
- (3) その他

## 6 閉 会



## 第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の開催について

“手話の聖地”鳥取県に全国の高校生が集結し、手話を使ったパフォーマンスの表現力を競い合う「第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」（以下「大会」という。）を下記のとおり開催しました。

### 記

#### 1 大会の概要

- (1) 開催日時 平成29年10月1日（日）午前9時15分から午後5時まで  
 (2) 開催場所 とりぎん文化会館 梨花ホール（鳥取市尚徳町101番地5）  
 (3) 演技内容 手話を使った歌唱、ダンス、演劇、コント、落語などのパフォーマンス  
 (4) 参加資格 全国の高等学校・特別支援学校高等部等に在籍している高校生  
 (5) 司会、ゲストパフォーマー、審査員

内 容	氏名（敬称略）	よみ	役職等
演技司会	早瀬 憲太郎	はやせ けんたろう	学習塾「早瀬道場」代表
	三城 千咲	みき ちさき	モデル・手話パフォーマー
総合司会	近藤 泰郎	こんどう たいろう	NHK鳥取放送局アナウンサー
ゲストパフォーマー	SoulImpression × SoulOBOG	そうるいんぷれっし よん	聴覚障がい者が在籍する国立大学法人筑波 技術大学産業技術学部のダンスサークル
審査員長	庄崎 隆志	しょうざき たかし	演出家・俳優
審査員	今村 彩子	いまむら あやこ	映画監督
	小中 栄一	こなか えいいち	全日本ろうあ連盟副理事長
	古川 鈴子	ふるかわ すずこ	手話通訳士・社会福祉士
	中野 佐世子	なかの さよこ	手話ニュースキャスター・手話通訳士
スペシャルサポーター	高橋 千枝	たかはし ちえ	鳥取大学地域学部准教授・臨床発達心理士
	山根 千佳	やまね ちか	タレント（本県出身）

- (6) 来場者数 約1,800人  
 (7) 大会の観覧 自由席（入場無料）  
 (8) 出場チーム 予選参加申込みのあった54チーム（55校）（27都道府県）のうち、予選審査を通過した20チーム（21校）（14都道府県）の精鋭が大会に出場

#### [内訳]

北海道1、宮城県1、東京都2、神奈川県2、石川県1、山梨県1、愛知県3、京都府1、奈良県2、鳥取県2、広島県1、福岡県1、熊本県1、沖縄県1  
 （鳥取県からは、鳥取城北高等学校及び境港総合技術高等学校の2校が出場した。）

- (9) 同時に開催した催し

- ア あいサポート・マルシェ（1階フリースペース等）  
障がい福祉サービス事業所による飲食物や雑貨等の販売  
 イ 手話カフェ（1階展示室）  
米子市にある手話カフェ sign によるドリンク類の提供。  
 ウ 鳥取聾学校作品（写真）展（1階展示室）  
鳥取聾学校生徒による写真作品の展示コーナー  
 エ ウェルカムステージ（1階フリースペース）  
今年の鳥取しゃんしゃん祭りでグランプリに輝いた百花繚蘭（ひゃっかりょうらん）による傘踊り  
 オ 県内高校生（2校）の実習製品等の販売コーナー（1階フリースペース）  
鳥取湖陵高等学校（農作物等）、境港総合技術高等学校（缶詰等）が出店  
 カ 鳥取市在住デザイナーClara（くらら）氏のアートワークショップ（1階展示室）  
 キ 公式グッズ販売コーナー、鳥取県特産品販売コーナー、鳥取県聴覚障害者協会販売コーナー、協賛企業PRコーナー（1階フリースペース）  
 ク 手話パフォーマンス甲子園紹介コーナー（1階・2階会場入口前）  
大会の紹介や過去の大会の様子を伝えるパネル展示、過去の大会の映像コーナー

出演者の集合写真



- (10) サテライト会場（小ホール）

約400席のサテライト会場を小ホールに用意し、大型スクリーンにより大会の様子を放映した。

## 2 表彰チーム・審査方法

### (1) 入賞チーム及び表彰内容

表彰内容	チーム名	贈呈
優勝	奈良県立ろう学校 ※ (奈良県)	表彰状、鳥取砂丘の砂メダル(金)、優勝旗、 副賞(東京ディズニーリゾートパスポート+旅行券)
準優勝	きょうわ 杏和高等学校(愛知県)	表彰状、鳥取砂丘の砂メダル(銀)、盾、 副賞(鳥取県特産品)
第3位	大泉桜高等学校・ 立川ろう学校(東京都)	表彰状、鳥取砂丘の砂メダル(銅)、 副賞(鳥取県特産品)
審査員特別賞	まわし 真和志高等学校(沖縄県)	表彰状、副賞(鳥取県特産品)
全日本ろうあ 連盟賞	くまもとろう 熊本聾学校(熊本県)	各団体から、表彰状及び副賞が贈呈
日本財団賞	鳥取城北高等学校 (鳥取県)	
鳥取県聴覚 障害者協会賞	たつるはま 田鶴浜高等学校(石川県)	

※ 「命のつながり」をテーマにした独特でユーモアのある演劇で、1人1人が一生懸命演じることができたことに加え、その技術力の高さが評価され、見事優勝に輝いた。

### (2) 審査方法(6名の審査員の審査得点の合計は最大300点。)

種別	人数	審査項目	配点
ろうの審査員	3名	○手話の正確性・分かりやすさ	30点
		○演出力・パフォーマンス度	30点(合計60点)
聞こえる審査員	3名	○演出力・パフォーマンス度	40点

表彰式(優勝)



チーム演技の様子



## 3 交流会の開催

大会前日の夜、出場高校生や司会、審査員などの大会出演者や来賓、関係者一同が会する交流会(立食パーティー形式)を開催した。

- ア 開催日時 平成29年9月30日(土) 午後6時から8時まで
- イ 開催場所 ホテルニューオータニ鳥取 鶴の間(鳥取市今町二丁目153番地)
- ウ 出席者 出場高校生、チーム引率者、1(5)の出演者、来賓、その他関係者(約250人)
- エ ゲスト 大阪パントマイムグループ

(1978年に聴覚障がい者によって結成。今までに全世界で約600回公演の実績あり。)

交流会の様子1



交流会の様子2



## 4 第5回大会の開催

来年秋の開催を見据え、今後、手話パフォーマンス甲子園実行委員会(平成30年2月開催予定)にて検討を行うこととする。なお、よりよい大会を目指し、手話パフォーマンス甲子園実行委員会の各委員や関係団体、出場チーム等からいただいた今回の大会のご意見等を踏まえ、次回大会の開催に向けて改善に努めていきたい。

## 5 その他

- (1) 大会当日は、来場できない全国の方々を対象に、大会の様様について公式動画チャンネル (You Tube) 上でライブ中継を行った。
- (2) ステージ中央に大型LEDモニターを設置し、登壇者や手話通訳者、要約筆記を一体的に表示させた。また、高校生の演技中は手話通訳及び要約筆記は行わないが、演技中の台詞や歌詞等には字幕を必ず表示させることをルール化した。さらに、ステージ両袖にはステージの拡大映像 (演技者や手話等をアップで見ることが可能) 及びステージ上で現在何が行われるかが分かる文字情報を表示するスクリーンを新設した。その他、視覚障がい者向けの音声ガイドの実施や、ヒアリング (磁気) ループの案内を行うなど、共生社会を目指す大会の取組の一環として、情報保障の充実を図った。
- (3) 障がい者や怪我等で歩行が大変な方、妊婦の方などが利用できるハートフル席を会場の1階席前方スペースに用意した。(ステージ上の手話や要約筆記を間近で見ることできることや、入館後に階段を昇り降りすることなく着席することが可となる席。)
- (4) 絵かきの門 秀彦 (かど ひでひこ) 氏 (聞こえる人) が審査員の予定だったが、やむを得ない事情により、大会当日鳥取県に来ることができなくなったことから、1 (5) のとおり、急遽、審査員を古川 鈴子氏に変更した。
- (5) 手話パフォーマンスグループ HANDSIGN (ハンドサイン) の『僕が君の耳になる』を公式テーマソングに採用し、プロモーションで活用した。また、大会中、同曲のプロモーション映像を放映するとともに、リーダーの TATSU 氏に同曲に込められた思いを語ってもらった。
- (6) 大会当日、鳥取駅におもてなしブースを設置し、大会及び会場の案内や観光PRを行った。
- (7) 11月5日 (日) 午後4時30分から、日本海テレビで60分間の大会のダイジェスト放送が行われた。

優勝した奈良県立ろう学校



準優勝した杏和高等学校





## 第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園における取材及びテレビ等の放送実績

## 1 取材一覧

放送局	内容	備考
NHK Eテレ	番組名：聾を生きる難聴を生きる	大泉桜高等学校・立川ろう学校と鳥取城北高等学校の2チームのドキュメント
北海道文化放送（UHB）	石狩翔陽高等学校の取材	出場生徒のうち、長谷川 幹奈さん（今年の全国高校生手話スピーチコンテストで優勝）に着目したドキュメント（成長の軌跡）（ローカルニュース内で放送）
目で聴くテレビ （NPO法人障害者放送通信機構）	大会の紹介	大会を紹介するダイジェスト放送を実施

## 2 テレビ放送

## (1) 聾を生きる難聴を生きる（NHK Eテレ）

大会の悲願であった大会の様態を特集した全国放送がついに実現した。多くの方に、大会の魅力や素晴らしさを知っていただける機会やきっかけとなることを期待したい。

ア 手話にかける青春 第4回高校生手話パフォーマンス甲子園（前編）

（ア）本放送 11月11日（土） 20:45～21:00

（イ）再放送 11月17日（金） 12:45～13:00

（ウ）放送内容


大会の紹介と、大泉桜高等学校・立川ろう学校及び鳥取城北高等学校の練習の様子を紹介

**11/11 手話にかける青春 第4回手話パフォーマンス甲子園 前編**

2017年11月11日（土）[Eテレ]午後8時45分～9時  
[再放送]2017年11月17日（金）[Eテレ]午後0時45分～  
※放送時間は変更される場合があります。

**内容**

高校生達が演劇やダンスなどを手話で表現する全国大会があります。毎年鳥取県で開催される「手話パフォーマンス甲子園」です。10月に第4回大会が行われました。  
東京代表の1校は、聞こえる生徒と聞こえない生徒の合同チーム。練習ではコミュニケーションを深めながら力を合わせ、息の合った演技の完成を目指しました。開催地の鳥取代表は健聴の高校生たち。練習では手話と同時に顔の表情で意思を伝える事がうまくできず苦労します。前編では、本大会に向け練習を重ねる高校生たちの姿を見つめます。



イ 手話にかける青春 第4回高校生手話パフォーマンス甲子園（後編）

（ア）本放送 11月18日（土） 20:45～21:00

（イ）再放送 11月24日（金） 12:45～13:00

（ウ）放送内容

本大会の様態と、大会の表彰結果を紹介（大泉桜高等学校・立川ろう学校及び鳥取城北高等学校の結果を含む。）

## 11/11 手話にかける青春 第4回手話パフォーマンス甲子園 前編

2017年11月11日(土) [Eテレ] 午後8時45分～9時  
[再放送] 2017年11月17日(金) [Eテレ] 午後0時45分～  
※放送時間は変更される場合があります。

### 内容

高校生達が演劇やダンスなどを手話で表現する全国大会があります。毎年鳥取県で開催される「手話パフォーマンス甲子園」です。10月に第4回大会が行われました。東京代表の1校は、聞こえる生徒と聞こえない生徒の合同チーム。練習ではコミュニケーションを深めながら力を合わせ、息の合った演技の完成を目指しました。開催地の鳥取代表は健聴の高校生たち。練習では手話と同時に顔の表情で意思を伝える事がうまくできず苦労します。前編では、本大会に向け練習を重ねる高校生たちの姿を見つめます。



### (2) 大会のダイジェスト番組 (日本海テレビ (日テレ系列))

ア 放送日 11月5日(土) 16:30～17:30

イ タイトル 感動再び! 『届け、メッセージ! 合言葉は手話パフォーマンス♪』

ウ その他 10月23日(月)・31日(火)の21時54分から、本放送をPRする告知番組を放送した。



※ 番組内容は、お手元のDVDに収録していますので、お手すきの際にぜひご覧ください。

### (3) 目で聴くテレビ (NPO法人障害者放送通信機構)

ア 放送日 各局で以下のとおり放送された (各放送地域に応じたチーム演技を抜粋して紹介)

- ・CS放送 10月10日(火) 21時～ (“いきいきワイド” 内で紹介)
- ・KBS 京都放送 10月14日(土) 8:00～
- ・tvk(テレビ神奈川) 10月16日(月) 9:00～

イ 特番放送

来年の正月 (1月2日か?) に、大会の特番 (昨年は60分番組) がCSで放送される予定。

### (4) 北海道文化放送 (UHB)

ア 放送日 10月6日(金)

イ 放送内容 同局の夕方のローカルニュース (みんなのニュース) の特集コーナーで放送。長谷川 幹奈さんを主人公に、石狩翔陽高等学校の演技の模様をドキュメントで紹介。

上記の他、7月にNHK長崎放送局にて、同県の平戸高等学校が予選審査会にあたって練習に臨む様子を紹介する放送が行われた。(こちらで情報を掴んでいないものの、手話パフォーマンス甲子園関連の放送等が各地で行われたかもしれない。)

## 第4回大会に係る企画推進会議委員の皆様のご意見・ご感想

平成29年11月24日

企画推進会議(平成29年度第3回)

### 良かった点

#### 【大会全般】

- ① お成りがなかったことで、この大会そのものの雰囲気や、基本的な流れを把握することができたこと。
- ② 初めて参加させていただきました。素晴らしい大会で感激しました。各学校の素晴らしいパフォーマンス、大会運営に携わられている方々の動きがスムーズに行われており、感心しました。
- ③ 先日、手話パフォーマンス甲子園のファンの方とおっしゃる方からお手紙をいただいた。毎年県外から見に来られており、アップされた動画も何回も見ておられ、本校の生徒を見つけて声をかけてくださった。台詞も覚えておられて、あそこの場面が良かった、会えて嬉しいなどを言うことが書かれていた。そういう方もいらっしゃることに、感謝をしたい。

#### 【情報保障】

- ① 情報保障コーディネイトチームが機能したこと。
- ② 情報保障コーディネイトチームメンバーとして、昼食時間帯で司会と確認できたのは良かった。  
(手話表現の修正など)
- ③ 情報保障コーディネイトチームを設けることで、昨年より改善された。来年も引き続き、続けたい。
- ④ 本大会の情報保障が行き届いていた。
- ⑤ ステージ上のスクリーンも大きく、マルチで見やすかった。

#### 【会場・催し】

- ① 会場が広く、余裕があった。
- ② 手話カフェ、ワークショップの設置。
- ③ フリースペースが広く、何があるか(何をしているか)が一目で分かった。
- ④ フリースペース・展示室での同時開催イベントも、一体感のある空間の中でできたのは良かった。
- ⑤ Clara氏の体験コーナーは良かった。
- ⑥ SNS用の記念撮影パネルが高校生に人気だった。

#### 【演技】

- ① 演技時間を知らせるランプが好評で、他の大会でも借りたいと言う人もいた。
- ② 年々レベルが上がり、高校生の熱心な取組が見られた。

#### 【出場チーム・生徒】

- ① 参加校とのやり取りも、手話で会話する学校が増えており良かった。
- ② 会場内外で、出場校同士の交流場面が見られた。
- ③ 高校生のマナーが良かった。

#### 【司会、ゲスト、審査員】

- ① 司会の三城さんが手話と音声でされていて、良かった。
- ② 司会者の三城さんはとても良かった。早瀬さんとのMCもとても自然で、スムーズな進行ができていた。やはり、手話のできる司会者というのは大事だと思った。
- ③ 司会者の進行がとても良かったと思います。それに、参加生徒もうまくのせてもらったように感じました。
- ④ 早瀬さんの手話教室が楽しかった。
- ⑤ ゲストパフォーマーのソウルインプレッションのパフォーマンスは迫力があつた。

#### 【出場チーム・生徒】

- ① 参加校とのやり取りも、手話で会話する学校が増えており良かった。
- ② 会場内外で、出場校同士の交流場面が見られた。
- ③ 高校生のマナーが良かった。

#### 【表彰】

- ① 賞が各校に分散して、良かったのではないかと思います。

#### 【ボランティア】

- ① 高校生のボランティアがあり、少しでも多くの方に関わっていただけた。

#### 【手話スタッフ】

- ① 手話スタッフが多かった。
- ② 余裕を持ったスタッフ人数の配置ができたので、休む間もなくという状況はなかったようで良かった。
- ③ 手話スタッフの説明会を10日前に設けてもらったのは良かった。
- ④ 会場の案内など、(手話)ボランティアスタッフが常におられて、丁寧な対応だった。
- ⑤ 全通研や県サ連の皆様の、聞こえない方への対応がとても良かった。

#### 【公式グッズ】

- ① 公式グッズ販売は良かった。もっと種類や数があれば売れたと思う。

#### 【交流会】

- ① 司会者の進行など、大変温かみのある会であったと思います。
- ② マグロの解体ショーは良かった。(ただ、カメラ中継が無かったのが残念。)



## 改善すべき点、工夫が必要だった点

### 【来場者】

- ① 開場前の観客の整理の仕方、及び手話通訳（手話スタッフ）、案内ボードでの提示などの検討。観客の誘導の仕方。
- ② 観客に聞こえる人、聞こえない人、聞こえにくい人がいる事を頭に入れ、運営することを皆が共有すべき。
- ③ 皇族の方においでいただくと観客席ももう少し埋まるのではと思うが、今年はフリーに動けた良さもあった。どちらにしても、毎年来てくださる方を大事にしつつ、初めて見に来るという方を増やす工夫をしたい。

### 【情報保障】

- ① 聞こえない人から、ハンドサインの歌（PV）に字幕がなく、歌詞がわからなかったとの声があった。
- ② 演技後のインタビューでの手話通訳者の立ち位置。手話で話す高校生と手話通訳者とかわり、手話が見にくい時があった。
- ③ 交流会と本大会は異なる通訳者が担当し、事前準備に集中できるとよいと思う。
- ④ ハンドサインのPV放映中、要約筆記が消えてしまったので、その間のアナウンス等の要約筆記を表示できなかった。
- ⑤ 司会用の譜面台の高さが気になった。客席の位置によっては、通訳が見えづかった。
- ⑥ 舞台下の読取通訳において、ステージが広く、早瀬さんの手話が見えにくい時があった。
- ⑦ 要約筆記の4行目の文字の下半分が切れてしまっている時間があった。
- ⑧ 試験導入したタブレット配信を来年も実施する場合は、設定等を早めに話し合いたい。

### 【会場】

#### 【客席】

- ① 今年初めて、当日資料を前もって椅子に置いていたが、人が座っている場所なのかどうかかわからず、（席取りのために置いていると勘違い）良くなかった。自由席で、しかも出入り自由の場合には、受付で配布した方が良い。

#### 【舞台】

- ① ステージにスタッフが度々出てくるのが気になった。（これまでは無かったのに。）

#### 【催し】

- ① 出場校の学校紹介などのパネル展があっても良かった。
- ② ワークショップの種類を増やす。子どもが楽しめる空間・内容があればよい。
- ③ スタバ、すなば珈琲に協賛してもらい、試飲コーナーを提供してもらうのはどうか。
- ④ 高校生販売コーナーに、もっと県内の実業校からの出店があったら良かった。申込みを待っているのではなく、委員からでも働きかけができればよかった。（せっかく、企画推進委員の中に校長先生もおられるので、校長会から働きかけていただければ、もっと増えたのではと思う。）地元高校生として、様々な形で参加できることは大事だと思う。
- ⑤ 手話カフェやワークショップの来場者が少なかった。
- ⑥ オープニングで、地元園児に手話歌を披露してもらってはどうか？

### 【受付関係】

- ① 来賓受付の前のドア（1階入口）が閉まっていて、場所が分からなかった。案内がほしい。
- ② 出場高校生の受付場所が分からなかった。案内がほしい。

### 【演技】

- ① スライド、音楽、照明のキュー出しは、教員でなく生徒が担当すべきではないか。
- ② 聞こえない生徒の手話表現に声をつける場合、声を担当するのはどの範囲にすべきか。また、大人が担当する場合は、そのことを審査員にあらかじめ伝えるべきか。
- ③ 上の①～②は、事前にルール化できるものであり、（ルール化にあたっては）高校生の演劇コンクールの審査基準などが参考になるのではないか。

### 【運営等】

- ① 一番の反省は、期日決定の遅れ。高校生の予定はかなり早くから決められている。本来なら今年度の終了時には来年度の日程がわかる位早めの告知が必要だと思う。今後の期日決定には、お成りよりも、高校生主体で考えるべきだと思う。また、年度によって開催時期が変わるのも問題。〇月の第〇週日曜日というように決めた方が良いと思う。
- ② 日程の早い決定は参加校を増やすためには、大切な気がする。今年は、日程の決定が遅すぎたように思う。
- ③ 参観者の確保をどうするかが課題だと思います。次年度の開会日程を閉会式の場で発表すれば、各校の翌年の参加にもつながると思います。
- ④ 手話学習や交流をしている中学校を中心に招待し、高校生になったら自分もあの舞台に立ちたいと思ってもらえるようにしたい。また、出場しなくても毎年見に行きたいとか、ボランティアスタッフとして関わりたいとか、聴覚障がいに関心を持っていただくなど、今後の普及につながるような気がする。

### 【司会、ゲスト、審査員】

- ① （今回のように）審査員が急遽、来ることができなくなった時は、基本的に補充する方針が良いと考えるので、誰をリストアップしておくか、申し合わせておくべきか。
- ② 審査員について、代替候補者の用意もしておいた方が良い。
- ③ 三城さんが下手から登場する際、モニターに映る前から話していた。

### 【ボランティア】

- ① 高校生ボランティアの活躍の場を検討。例えば、閉会式の時にプラカードを持ち、入場する際のリハーサルをすれば、業者スタッフが舞台の上で目立つことも少なくなる。
- ② 高校関係の企画推進会議委員の協力を得て、高校生ボランティアが動きやすい体制を作る。
- ③ 高校生ボランティアをもっと増やして、出場しなくても関わられる工夫が必要ではないかと感じた。

### 【手話スタッフ】

- ① 手話スタッフが動きやすい体制の検討。（これと云っていい案はすぐには見つかりませんが…）

### 【審査】

- ① パフォーマンスだけではなく、パフォーマンス後のインタビュー（質疑応答）の手話表現も対象にしてはどうか？

#### 【リハーサル】

- ① 舞台通訳のリハーサルの時間が十分ではなく、当日苦慮した。前日は出場チームのリハーサルが中心になるので、できれば前々日にリハーサルの時間を作ってほしい。

#### 【公式グッズ】

- ① 大会グッズで高校名が入っていないものも販売して欲しかった。

#### 【広報】

- ① 大会のPRチラシに昨年出場した20チーム中、16チームの写真が載っているが、16チーム載せるのであれば、あとの4チームも載せるべきではなかったのか。載っていない学校の気持ちを考えるべきだと思う。
- ② イベントの旗が鳥取駅前と若桜街道に少し立ててあったが、もう少し数を増やして目立つ立て方が良かった。駅からとりぎんまで片側でも良いから10メートルおき位に立っていれば街の人にも目についたと思う。会場内は盛り上がっていても街の人には知られていないというのでは寂しい。足を運ばなくてもイベントのことを知ってもらうことは大事。

#### 【交流会】

- ① バイキングの進行方向の矢印(→)の先が細すぎてわかりにくかった。
- ② マグロの解体ショーは、スクリーンに映った方が良かった。
- ③ 立食ということもあり、やや時間が長かったように感じました。食事は、もう少し質素でも良いのではと思います。参加者でもあり、ホストでもある地元の高校生がもう少し積極的になれるよう、事前の指導が必要と思いました。
- ④ 映像出しは、カメラの位置も含めて改善する必要あり。(1カメ体制では限界)
- ⑤ 歓談や読み取り通訳の声が重なり、要約筆記者が聞き取りにくい状況だった。環境設定が不十分だった。また、テーブルや料理と近く、人だかりができていて、ステージの様子が把握できなかった。

## その他、ご意見・ご感想

- ① 年々、大会の質が向上しているのが体感できました。
- ② 梨華賞ほかにも、出演者含む関係者に「第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」の名前入りのオリジナルネックストラップとIDパスの配付をしては？（記念品にもなる）
- ③ 今回は参加申込みと来場者が少なく、残念だった。次回は早めに日程を決め、参加申込みチーム・来場者共にたくさんあることを期待したい。
- ④ 大会日程及び会場について
  - ・ 県内を一巡（東部、中部、西部）したので、今後は、開催期日、会場の固定化を検討したほうがよいのではないと思う。
  - ・ 学校の行事は前年度に予定されると思うので、大会をめざす学校にとっては開催期日が決まれば練習がしやすい。このような全国規模の行事はほとんど前年に期日を発表している。この大会の主役は高校生であることを考えれば、高校生が力を発揮できる環境を作るべきであり、そのためにも、開催期日の固定化は検討したほうがよい。
  - ・ 他の団体の全国規模の期日を参考にすれば、期日はある程度事前に決められるのではないか。
  - ・ 毎回（毎年）会場が変わることによって、舞台の広さ、動線、スタッフの関わり方が変わる。しかし、会場が固定（常に同じ会場に）すれば、運営もしやすくなる。
  - ・ 舞台のみでなく、参加者（観客、出場者）が楽しめる空間が一望できる会場を検討すべき。そのためにもとりぎん文化会館は最適である。
  - ・ 開催期日を固定化すれば、会場の予約は前年度にできる。毎年会場を探すためと期日検討に労力を費やすのはもったいない。
- ⑤ これまで毎年開催場所を東部・西部・中部と県内持ち回りでしてきたが、多くの種類の甲子園がある中で、開催場所を毎年変えるものは他にないと思う。手話の聖地と宣伝するのであれば、一か所に決められた方がよいのではと思う。そのことを踏まえ、今年の会場は、集客規模も県内一で建物の作りも、玄関を入った時に全体を見渡すことができ、ホール内・ホール外が一つのイベントをしているという一体感が持てる最適の会場だと思った。会場を決めてしまえば、会場確保もしやすいと思う。是非検討をしていきたい。



## 第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園に係る今後の日程について

平成29年11月24日現在

日程	内容	備考
平成29年2月中旬 (2月17日承認)	H28 実行委員会 (書面会議)	第4回大会開催決定、基本計画、H28補正予算、実行委員会設置運営要綱改正
平成29年2月20日	H28 第4回企画推進会議	第4回大会開催要項、予選審査・選考方法
平成29年4月30日	第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の開催日決定	同日、日程及び第4回大会の開催要項公表
平成29年4月	H29 実行委員会 (第1回書面会議)	H29 収支予算
平成29年5月	大会チラシ、ポスター等の送付	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国の高等学校、特別支援学校等</li> <li>・各都道府県、政令指定都市 (障がい福祉担当課、教育委員会)</li> <li>・手話言語条例制定市町</li> <li>・各都道府県全国ろうあ連盟加盟団体</li> <li>・県内各市町村</li> <li>・県内公共施設 等</li> </ul>
平成29年5月15日	参加申込み受付開始	
平成29年6月	H29 実行委員会 (第2回書面会議)	H28 収支決算・設置運営要綱の改正
平成29年6月23日	H29 企画推進会議 (第1回)	第4回大会実施計画、参加申込み状況
平成29年7月3日	参加申込み期限	
平成29年7月20日	予選審査動画の提出期限	
平成29年8月2～3日	予選審査会	鳥取県庁 (動画視聴による審査)
平成29年8月21日	H29 企画推進会議 (第2回)	第4回大会実施計画、予選審査結果
平成29年9月30日	第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園リハーサル、交流会	とりぎん文化会館 ホテルニューオータニ鳥取
平成29年10月1日	第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園本大会	とりぎん文化会館
平成29年11月24日	H29 企画推進会議 (第3回)	第4回大会開催結果の報告、意見交換
平成30年2月上旬	H29 実行委員会総会	第4回大会開催結果の報告、 第5回大会基本計画、H29 補正予算
平成30年2月下旬	H29 企画推進会議 (第4回)	第5回大会開催要項、選考方法

## 【第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子園について】

○開催時期 平成30年秋 (9月～11月を想定)

○開催場所 鳥取県内 (西部地区か?)

⇒ 今後、来年2月開催予定の平成29年度手話パフォーマンス甲子園実行委員会総会にて、大会の開催 (日程及び会場) を正式に決定する予定。

2018年度 (平成30年度) 年間カレンダー

2018 4 April	2018 5 May	2018 6 June	2018 7 July
2018 8 August	2018 9 September	2018 10 October	2018 11 November

## 平成29年度 手話パフォーマンス甲子園実行委員会収支予算執行状況

## (1) 収入の部

(単位：円)

科目	予算額	決算見込み額	備考
助成金	33,580,000	33,580,000	・日本財団助成金
負担金	13,824,000	4,324,000	・鳥取県負担金
協賛金	1,400,000	1,671,000	・大会への協賛金（企業、団体、個人）
手数料	120,000	160,000	・応援自動販売機手数料
雑入	180,000	150,000	・寄付金 ・預金利息
前年度繰越金	889,355	889,355	・前年度（H28年度）からの繰越額
計	49,993,355	40,774,355	

## (2) 支出の部

(単位：円)

科目	予算額	決算見込み額	備考
実行委員会運営費	698,000	698,000	・実行委員会開催経費 （旅費、会場使用料、通訳、飲料代等） ・実行委員会の運営経費 等
広報宣伝費	7,000,000	7,000,000	・チラシ、ポスター印刷費 ・広告費 ・テレビ番組制作費 等
大会開催費	7,735,355	7,735,355	・予選審査会開催経費 ・参加チーム助成金 ・大会開催経費 （旅費、会場使用料、通訳、飲料代等） ・交流会開催経費 ・関係機関との連絡調整費 等
大会運営委託費	34,560,000	25,341,000	・大会企画運営委託業務 ・委託業者選定審査会開催経費 等
計	49,993,355	40,774,355	

手話パフォーマンス甲子園実行委員会企画推進会議 出席者名簿  
(平成29年度第3回)

役 職	所属 ・ 役職名	氏名 (敬称略)	出 欠 (代理：敬称略)
委員長	鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局長	宮本 則明	出
委 員	公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 事務局次長兼福祉・労働委員会委員長	戸羽 伸一	出
	鳥取県手話通訳士協会	森原 早百合	出
	全国手話通訳問題研究会鳥取支部	国広 生久代	出
	鳥取県手話サークル連絡協議会	田中 優子	出
	社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 常務理事	野間田 憲昭	欠
	鳥取県教育委員会事務局 教育次長	寺谷 英則	出
	鳥取県高等学校長協会 会長	山根 孝正	出
	鳥取県私立中学高等学校長会 会長	佐伯 友茂	出
	鳥取県立鳥取聾学校 校長	三王寺 孝子	〔 教諭 霜村 新 〕
	一般財団法人全日本ろうあ連盟 青年部長	廣田 喜春	出
	国立大学法人筑波技術大学 教授	大杉 豊	出
事務局	障がい福祉課長	小澤 幸生	\
	障がい福祉課社会参加推進室 室長	明場 達朗	
	障がい福祉課社会参加推進室 課長補佐	竹ノ内 司修	
	障がい福祉課社会参加推進室 係長	安永 孝文	